

## 前号のふりかえり

### なぜ公共施設のあり方について検討する必要があるの？

- ・昭和50年代に整備された公共施設が老朽化し、修繕や建替え時期が一斉に到来
- ・将来の人口減少と世代構成の変化への対応が求められている。
- ・現状ではすべての公共施設を維持していくことは困難 など

公共施設を  
めぐる課題

上記の課題に対応するため、市の基本方針を踏まえ市民と協働で施設のあり方を考えていきます。

公共施設の  
基本方針

総量削減

人口減少や厳しい財政状況などを踏まえ、施設に係る費用の削減や需要に見合った施設規模での更新、集約化・統廃合による施設の見直しなどを行います。

機能の維持  
サービス

単一目的の施設から多機能化・複合化施設への転換を図り、施設規模は縮小しても、スペースの有効活用などによりサービス機能を可能な限り維持します。

## 第1回オープンハウスが開催されました！

昨年12月26日に北区役所、12月27日に豊栄地区公民館で、市の検討の状況をまとめたパネルを展示し、職員がご来場された方々のご質問にお答えしたりご意見を伺ったりしました。

今後も、適宜オープンハウスなどを開催し、地域の皆様のご意見を検討に反映させます。

### いただいたご意見（抜粋）

- ・課題や課題解決のねらい（財政負担を残さない）などは良く理解できる。
- ・郷土博物館はあまり利用されていないので、新庁舎に展示機能が移るのは良いと思う。
- ・葛塚コミセンは豊栄地区公民館があれば不要だと思う。葛塚コミセンはあまり使われていないと思う。
- ・施設跡地は民間に活用してもらえると良い。
- ・公共施設の統合、複合化は便利になって良いと思う。
- ・施設を集める複合化は便利になり、良いことだと思うが、避難所は地域に点在している方が良いと思う。難しい問題だ。
- ・施設を新庁舎に複合化させると使いやすくなって良いかもしれない。（豊栄地区公民館や葛塚コミセンなど）
- ・現在の区役所新館を葛塚コミセンにするのも良いと思うが、お金をかけすぎないようにすべき。葛塚コミセンと豊栄公民館を新庁舎に入れる案もありだと思う。実際に進める際には公民館利用者が困らないようにすべき。
- ・太田小のグラウンドは宅地分譲でも良い。地域住民の子どもの世代が地域内に家を建てられる土地がない。
- ・お金をかけず、効率的に施設は整備、維持してほしい。
- ・ワークショップやオープンハウス、ニュースレターなどで、情報提供や市民と意見のやりとりをしながら進めているのは良い。
- ・若い人の意見を聞くべき。なかなか若い人は先輩方の前では意見をいいにくい。



本紙で紹介しきれなかった第2、3回ワークショップでの議論の内容や、第4回ワークショップで議論した対策案の評価の内容については、市ホームページに掲載しています。

### 葛塚地域のこれから

## この資料に関する ご意見・お問い合わせ先

みなさんのご意見をお寄せください！

地域別実行計画コミュニケーション事務局  
 （新潟市財務部財産活用課内）  
 〒951-8131 新潟市中央区白山浦1丁目613番地69  
 新潟市開発公会館2階  
 TEL：025-226-2387  
 FAX：025-230-5151  
 E-mail：zaisan@city.niigata.lg.jp

## 新潟市 財産経営 NEWS 葛塚地域第2号

ニュースレター 第2号

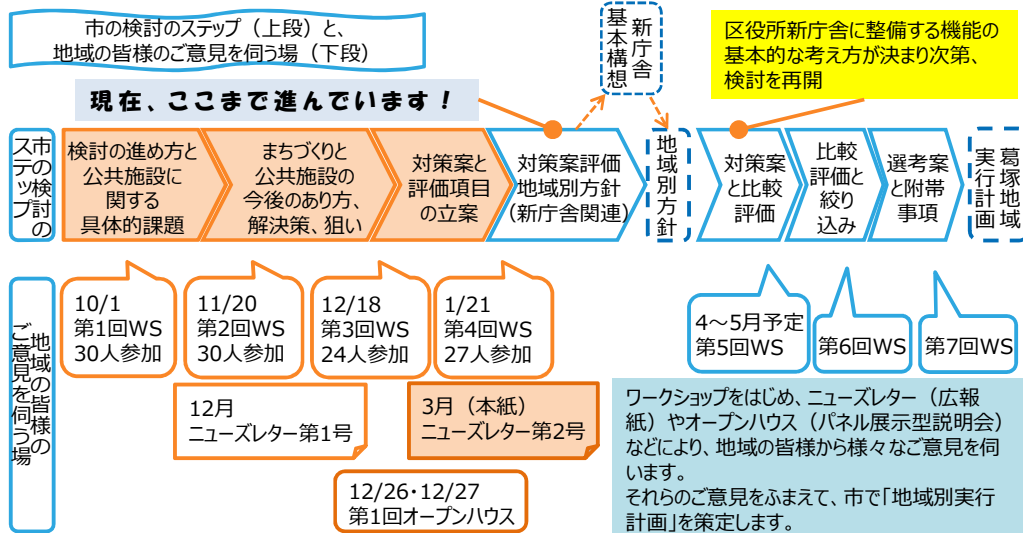
## 葛塚地域の公共施設のこれからを考える

「葛塚地域の公共施設のこれから」を考えるワークショップも、これまで4回開催されてきました。また、昨年12月には、ワークショップ参加者以外の方からご意見を伺うオープンハウス（パネル展示型説明会）も開催されました。このニュースレター（広報誌）などをご覧ください、地域の皆様のご意見をお寄せください。

## 公共施設のあり方について、様々な可能性を検討しています。

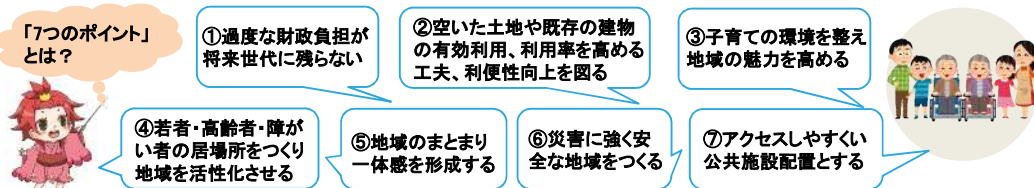
葛塚地域では、区役所新庁舎の整備や太田小の編入統合を契機として、地域の公共施設のあり方や小学校の跡地の活用などについて地域の皆様と市・区役所がともに考えるワークショップ（WS）を昨年10月から開催しています。

これまで複数の対策案について議論しましたが、今後、本WSや新庁舎基本構想検討会議などの意見をふまえ、区役所新庁舎に整備する機能（新庁舎基本構想）を市でまとめます。その後、地域の公共施設のあり方を示す「地域別実行計画」の検討を再開します。



## 課題解決の狙いとなる「7つのポイント」を整理しました。

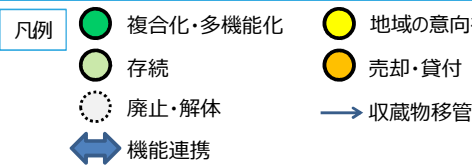
第3回までのワークショップでの議論や第1回オープンハウスでの意見などをふまえ、地域の公共施設について望ましい将来の姿（課題解決の狙いとなる「7つのポイント」）を整理しました。第3、4回ワークショップでは、これらのポイントを達成するための対策案※を議論しました。



対策案の詳細は、次のページにあります！

# 6つの対策案について、議論しました。

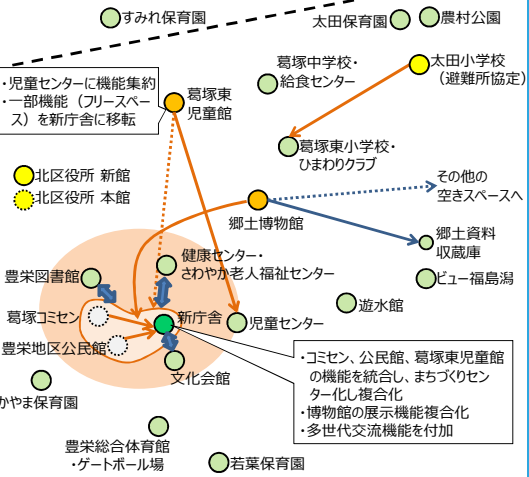
第3、4回のワークショップでは、事務局が議論のために仮設定した6つの対策案について、長所や課題などを議論しました。また、課題解決の狙いとなる「7つのポイント」から各案を評価しました。（評価の詳細はホームページ参照） ※これらの案は、比較検討のためのものであり、実現を担保するものではありません。



これまでの議論をふまえ、次回ワークショップでは、再度対策案（修正案）を提示します。また、対策案について「7つのポイント」から比較・検証を行います。

## A 新庁舎を中心としたコミュニティ拠点の形成 (類似施設の集約)

- 【案の概要】
- 類似施設を集約、多機能化・複合化し、利便性や使いやすさの向上を図る。
  - 新庁舎に公民館、コミュニティセンターを「まちづくりセンター」として複合化して建設
  - 多世代が一体となって集まる交流拠点を形成
  - 太田小は民間活力を利用した活用



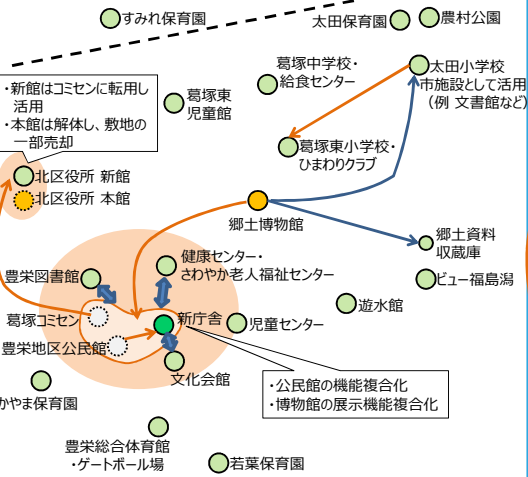
- 【議論の内容抜粋】
- 施設を集約した方がワンストップで用事が足せるので、新庁舎に多くの機能を複合させ利便性を高めるのは良い。
  - 新庁舎に公民館やコミセンが入るとスペースが狭くなり、部屋が取りにくくなりイベントができる空間がなくなるのでは。
  - 新庁舎に施設が集中すると、人の流れが変わり、現庁舎周辺が廃れてしまうのでは。
  - 多世代交流は地域密着型の活動だと思っので、地元の自治会館などの方が効果的な活動ができるのでは。
  - コミセンは市ではなくコミ協が運営しているので、空間としても独立していた方が管理運営がしやすく、独自性も維持できる。
  - 太田小跡地は、農業的な利用の可能性を考えられると良い。

### 物差案① 財政的効率化案

- 【案の概要】
- 新庁舎以外は新たな施設整備は行わず維持改修のみ
  - 現区役所と太田小学校は売却・貸付
  - 遊水館は売却・民営化し、博物館は郷土資料収蔵庫やビュー福島潟などへ機能移転
  - 将来的に保育園は民間施設で保育需要を吸収し、廃園（民間保育園に移行）

## B1 中学校区の均衡ある発展 (新庁舎基本構想検討会議の意見を含む)

- 【案の概要】
- 地域にまんべんなくコミュニティの拠点をつくる。
  - 現区役所新館をコミュニティセンターに転用して有効活用を図る。
  - 新庁舎に公民館を複合化して建設
  - 太田小は市施設とし、一部に集会施設機能を移転



- 【議論の内容抜粋※B2案と共通の内容】
- 太田小を市有施設とし、避難所として使用できる点が良い。文書館とする際は、避難所としての機能が果たせる様な配慮を。
  - 区役所新館にサテライトキャンパスを誘致し、大学との連携を進められると、まちなかに若者の居場所ができ、より地域の活性化につながるのでは。車が使えない大学生にとって、駅に近い区役所新館は利便性が高い。
  - 太田小を市の施設として残すのに、文書館としてだけ利用するのはもったいないので、老朽化している太田保育園を機能移転したり、音楽団体の練習場所などを整備することにより、地域活性化や一体感の形成に結び付けたい。

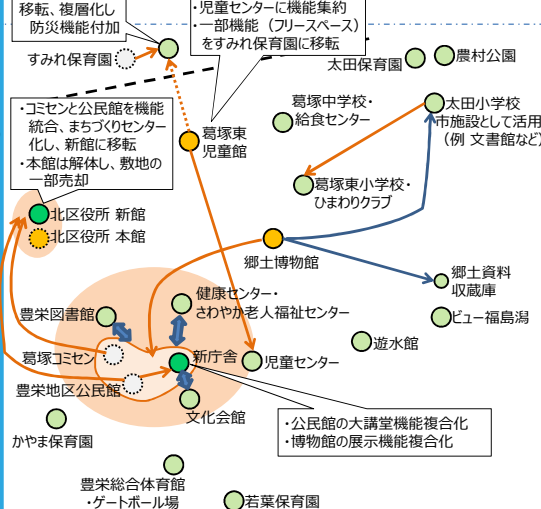
### 物差案② 現状維持案

- 【案の概要】
- 新庁舎以外は新たな施設整備は行わず維持改修のみ
  - 現区役所と太田小学校は売却・貸付

※物差案①②はA～C案との比較検討のための仮案です。

## B2 中学校区の均衡ある発展 (C案のすみれ保育園(機能強化)を追加 (公民館の貸館機能を現区役所新館へ・大講堂は新庁舎へ))

- 【案の概要】
- B1案に、C案のすみれ保育園の機能強化を追加
  - 新庁舎へは郷土博物館の展示機能と公民館の大講堂の機能を移転し、公民館とコミュニティセンターの貸館機能はまちづくりセンターとして現区役所新館に移転
  - 地域のコミュニティ拠点は現状より市街地、豊栄駅に近くなる。



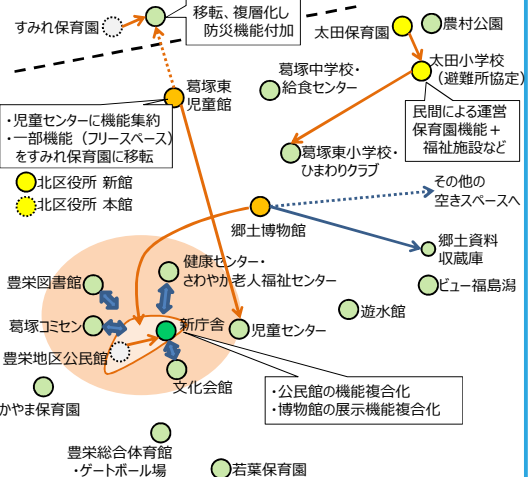
- 【議論の内容抜粋】
- 線路の北側に高い建物ができることで避難所が整備され、老朽化しているすみれ保育園を建て替えられるので、防災と子育て支援の双方で評価できる。候補地は吟味してほしい。
  - コミセンや公民館が新館に入れば人が集まってくるので、まちなかに人が流れることが期待できる。新館にどのくらいのスペースが取れるのかを検証し、駐車場の確保も考慮した上で計画を。
  - これから高齢者が増えることを考えると、コミセンと公民館を駅からのアクセスの良い新館に移すのは良いと思う。これまでより大人数で集まれる広さが確保でき、バリアフリーになることを期待。

### 【各案共通の内容抜粋】

- 機能集約しても現在と同等もしくはそれ以上の市民活動ベースを確保すると共に、飲食ができる様に運用ルール改善の検討を。
- 葛塚東児童館を豊栄児童センターに機能集約してしまうと、通うのが遠くなり不便になる。現状の施設のまま維持できると良い。
- 新庁舎を中心としたエリア内の施設間の移動の利便性と回遊性の向上のため、歩道や屋根付きの通路が整備できると良い。
- 現庁舎と新庁舎の2つのエリアは比較的近い距離にあるので、拠点が分かれるという認識ではなく、一体と考えて良いのでは。
- 保育園を民間委託にする場合は、保育の質が確保されるようにしてほしい。
- 今後は生徒数が減っているので、葛塚中と葛塚小の給食センターは他地区と統合した方が維持管理費の削減に繋がるのでは。
- 健康センターと公民館を近接させたり、親子が利用できる施設を集約し利用率の向上を図るなど相乗効果が生まれる配置を。
- いずれの案もコミセンを廃止としているが、コミセンの建物はまだ十分使えるのだから有効活用を考えるべきだ。
- 駅周辺のお店を利用したくても駐車場がないので困っている。区役所本館の跡地を民間管理でもいいので駐車場にしてほしい。

## C 子育て支援の充実による人口減少対策

- 【案の概要】
- 保育機能を充実させ、安心して子育てしやすい環境をつくり、若年世代の定住を促す。
  - すみれ保育園の環境改善（東児童館の一部機能移転）
  - 新庁舎に公民館を複合化して建設
  - 太田小は民間活力を利用した活用(保育園+福祉施設)
  - 避難所機能を確保



- 【議論の内容抜粋】
- 線路の北側に高い建物ができ、避難所として使える点が評価できる。
  - 葛塚東ひまわりクラブは居住地域によってはアクセスしづらいのですみれ保育園が複層化され機能が強化されるのであれば、すみれ保育園にひまわりクラブの機能も付加して、子育て拠点にできると良い。
  - 現区役所の新館を売却・貸付することになっているが、新館はまだ新しいのだから有効活用した方が無駄がないのでは。